



上越市立牧小学校

第8号

学校だより

令和3年1月1日

感動の連続 2学期を振り返る

校長 百目鬼 弘通

コロナ禍の中の令和2年でした。その影響もあり、一年の世相を表す「今年の漢字」は、「密」と発表されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密にならない生活や行動が呼び掛けられて浸透したことに加え、人との関係が密接になったことなどを理由に、「密」に多くの応募が集まったそうです。幸い、本校では、学校行事の時期変更や内容の縮小・変更などがありましたが、概ね正常な教育活動を展開することができました。これも小規模校としてのメリットが大きく作用したことと考えています。

さて、教育現場では、感動体験を大切にしたいとか、感動する心を育みたいと強く願っています。本校では、目指す学校像の一つに「感動広がる学校」を位置付けています。子ども・保護者・地域・教師が「感動する」「～を感動させる」「～に感動させられる」主語によって“感動”の対象は異なります。私はほぼ毎朝、校門や玄関前で子どもたちを迎えています。校門前のあの最後の坂道を登ってくる子どもたちを迎えるたび、子どもたちに感動させられています。

“感動”を広辞苑で引くと「深く物に感じて心を動かすこと」とあります。“感動”という言葉はあっても、“知動”という言葉がないのは、やはり人を動かすのは知識ではなく、感じたものだからではないかと思えます。“感情が揺さぶられるから、人は行動する。感動こそが人を動かすものだ”と改めて感じました。

2学期は、「感動する」「感動させられる」場面がいくつもありました。5年生の妙高自然教室では、校長がファシリテーターとなった人間関係づくりで、課題解決に向けて7人が一つになった姿に感動しました。時期を移しての体育大会は、時間が取れず練習もままならなかったにもかかわらず、立派に一人一人が自分の力を発揮する姿を見て感動を覚えました。ベル演奏や渾身のダンスパフォーマンス、中学生と一緒に踊った「よっちょれ」など、小規模校のよいところを余すことなく表現した小中合同文化祭は、牧小の子どもたちに加えて、中学生の表現力にも感動させられました。学校行事だけでなく、日々の学校の中でも数多くの感動場面がありました。「牧っていいな」のとおり、牧の子どもたちに感動させられっぱなしでした。

今学期は、大きな学校行事がいくつもあり、充実した学期となりました。大きな事故やけがもなく、みんな元気に学校生活を送ることができました。ぜひ、ご家庭でもお子さんの成長や今年よかったこと等を親子で振り返り、来年に繋いでいってください。子どもたちの頑張りが一番ですが、その子どもたちを支え、いつも応援いただきました保護者や地域の皆様方に、心から感謝申し上げますとともに、来る令和3年の更なる充実をお祈り申し上げます。

2学期の各学年の取組を紹介します。

2学期も教科はもちろん、生活科や総合的な学習の時間では、うさぎ飼育や町探検、米づくり・販売など多様な活動を展開してきました。子どもたちは、それぞれの活動を通して学びながら大きく成長することができました。

1年生 ウサギの「チョコくん」とともに成長した2学期

1年生は、生活科の学習でウサギの「チョコくん」を飼育しました。チョコくんのお世話をする活動を通して、生命の大切さを学びました。大好きなチョコくんと過ごして、感じたことや考えたことを絵にしたり文章にしたりして伝えることができました。時々「元気かな?」「また会いたいな」など「チョコくん」を思い出しています。



2年生 よきお兄さんお姉さんとして、成長した2学期

2年生は、生活科「町を探検しよう」で中学校へ探検に行きました。佐藤教頭先生から学校の中を案内していただきました。小学校と違って机や階段など少し大きめなことが分かり驚いていました。12月には、1年生を招待して「遊びの国」をしました。1年生に喜んでもらえるように遊びの内容を考えました。招待したとき、1年生が大変喜んでいたので2年生もほっこり顔になりました。



3・4年生 学習を生かして自分たちでいろいろ作った2学期

総合の時間に浄水場やダムを見学し、学んだことをまとめていきました。水道水と湧き水の違いなどにも興味をもち、手作りのろ過装置も作りました。また、今年度より本格スタートした「プログラミング学習」にも取り組み、社会科の授業では自分たちで作成した地域安全マップに、ロボットを走らせていました。



5年生 伝統的な米づくりを通して、学び、成長した2学期

2学期には、かかし作りや稲刈り、鯉との共生米販売など、牧の伝統的な米づくりをすまいる☺学年7人で経験してきました。一步一步ですが、7人が成長していく姿を見ることができました。3学期が終わると最高学年になります。自信をもって学校を引っ張っていけるように、3学期を過ごしていきたいと思います。



6年生 中学校への Step 段階の2学期

『過程を大事にしていけば、結果はついてくる』と、子どもたちに話しながら過ごしてきた2学期でした。準備期間が短い中、体育大会や小中合同文化祭に向けて取り組んできました。また、中学校へ授業見学に行きました。進学に向けて今から準備できることは何かを考え、実践しました。



今月のことば：「まずは笑顔、次に「ハイ」と肯定的な返事」

今野華都子（タラサ志摩スパ&リゾート社長）

忙しいときこそ、子どもの手を借りましょう。

冬休みに入ります。クリスマスや大晦日、お正月などの行事も多く、子どもたちはとても楽しみにしていると思います。学校では、給食当番や高学年の調理実習、週2回の清掃、学級での係活動など、家庭生活でも生かせる活動を行っています。それらの活動を通して、食育や料理に興味をもったり、掃除した後のすがすがしさや係り活動で人の役に立つ心地よさを感じたりする子どもが多くいます。ぜひ、ご家庭でも、家族の一員としてお子さんに役割を与えていただければ幸いです。



〔6年生 調理実習〕

特に、年末は何かと忙しくて大変です。忙しいからこそ、子どもたちの手伝いに頼ってみてはいかがでしょうか？「あっちへ行ってて！」ではなく、「一緒にやろう」「ちょっと助けてくれると、うれしいんだけど」など、子どもの心をくすぐる声かけで、子どもたちはやる気になり、頑張るものです。そして、忘れていけないのは、「ありがとう、助かったよ」の一言です。子どもたちは、人の役に立てた気持ちよさを実感しながら冬休みを過ごせると思います。

雪とともに「クロスカントリースキー」と「雪遊び」

3学期の取組の一つに、本校の特色でもあるクロスカントリースキー（以下 CC）を行います〔1・2年生は、雪遊びやスキー遊び〕。CCを通して、最後までやり抜く気力・体力の向上を図ることをねらいとします。また、4年生以上に加え、3年生の希望者は、課外活動でも CC を行います。CCの基礎的・基本的技術を身に付け、自己の記録に挑戦するため「信越学童親善スキー大会」に出場します。充実した活動になるよう、教職員はもちろん、地域の方や専門的な指導者からのご支援をいただきながら、取り組んで参ります。



〔「信越」男子リレー緊張のスタート前〕

1月の主な予定（今後変更される場合があります）

1/8（金） 3学期始業式 12:40 下校

1/12（火） 校内書き初め会

1/13（水） 発育測定

1/14（木） 委員会

1/26（火） 移行学級